

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

アクティブラーニングを体験しよう!

イスラームから世界を見る ～中東とヨーロッパの今



誤解や偏見とともに語られがちなイスラーム。その寛容さや多様性について、私たちはどれくらい知っているのでしょうか。今回のセミナーでは、これまでムスリムがヨーロッパ社会でどのようにくらしてきたか、混迷を極める中東やそこからあふれ出す難民の「今」をどのようにとらえたらいいのかを考えます。私たちがイスラーム世界に向き合うために、そして私たちの社会を見つめ直すために。

講師：内藤 正典 さん（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科）

日時：2016年 **12月10日**（土）16:00～**11日**（日）12:00

場所：関西セミナーハウス 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 電話075-711-2115 [裏面に地図]

参加費：10,500円（1泊夕朝食込み）◎2日目昼食ご希望の方は申込時にご予約ください。（1,150円）

- * 開発教育セミナーの趣旨より、宿泊は原則的に2～3名の相部屋となっておりますが、部屋割りについてご要望のある方はお問合せください。
- * Webサイト(申込フォーム)、Fax(裏面書式)、電話、メール等でお申込みください。
- * 申込締切：12月4日(日)、または定員30名に達し次第。
(締切日以降は、電話でお問い合わせください。)
- * 部分参加については事務局にお問合せ下さい。
- * 前日正午以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかります。

ご参加の方へ

内藤さんの最新刊
『となりのイスラーム』
(ミシマ社)を
ぜひ読んできてく
ださい。



内藤 正典 ないとう まさのり

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授。現代イスラーム地域研究、ヨーロッパにおける移民問題などを研究。近年のイスラームとテロの問題についても注視し、TV、新聞等でも幅広く中東情勢と移民問題について論じている。

著書に『欧州・トルコ思索紀行』人文書院（2016）、『イスラームとの講和—文明の共存をめざして』（共著）集英社新書（2016）、『トルコ 中東情勢のカギをにぎる国』集英社（2016）、『イスラーム世界の挫折と再生—「アラブの春」後を読み解く』明石書店（2014）、『イスラームから世界を見る』ちくまプリマー新書（2012）、『イスラーム—癒しの知恵』集英社新書（2011）、『イスラームの怒り』集英社新書（2009）、『激動のトルコ』明石書店（2008）など多数。

◎ セミナー当日のタイムテーブル

- 【1日目】 15:30 ~ 受付
 16:00 ~ セッション1：中東の今
 ・アクティビティ
 1. 4つのコーナー
 2. 「中東」をめぐる地図
 ・内藤さんのお話 と話し合い
 18:00 ~ 夕食
 19:00 ~ セッション2：ヨーロッパの移民社会
 ・内藤さんのお話 と話し合い
 21:00 ~ 交流会
- 【2日目】 8:00 ~ 朝食
 9:00 ~ セッション3：イスラームと私たち
 ・アクティビティ
 1. フォトランゲージ：日本のムスリム
 2. 中東の歴史
 3. 私たちの社会を見つめなおす
 ・話し合い
 12:00 終了予定

セミナー期間中、開発教育関連書籍の販売があります。

◇ 2016年度 開発教育セミナー

- 第3回 9月10日(土)～11日(日)「政治って何なんだ!?～日本の戦後とこれから」
 講師：白井 聡さん(京都精華大学人文学部)
- 第4回 10月15日(土)～16日(日)「ヘイトスピーチ・わたし・社会」
 講師：安田 浩一さん(ジャーナリスト)
- 第5回 11月5日(土)～6日(日)「支配されるタネ～食料主権と持続可能な社会」〈オプション/フィールドワーク〉
 講師：西川 芳昭さん(龍谷大学経済学部)

* 各プログラムの詳細・最新情報は、当センターウェブサイト (<http://www.academy-kansai.org>) にも随時掲載いたします。

<主催>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール office@academy-kansai.org

所長 榎本 栄次

担当 都木かおり



[2016年度 第6回 開発教育セミナー申込書]

* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅(出口②)が拾いやすいです。

(フリガナ)			
名前	(男・女)	所属	
住所〒			
電話 ()	-	FAX ()	-
電子メール:		@	
通信欄			